■ 平成30年度・令和元年度入学生用 カリキュラム・マップ ■

（令和3年3月4日更新）

地域創造学環

学位	学士（文学）																													
付属情報	◎：特に重要な項目、○：重要な項目、△：望ましい項目								A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関連する社会の問題・課題をテーマの一つとしている	「地域」にフィールドワークや見学等に行くことがある	「地域」の人材リソース（外部講師等）を活用することがある	「地域」が関係する社会の問題・課題解決のための基本的な知識・スキルを身につけることができる
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標																						
教養科目	新入生セミナー	大学導入	選択	LAFS0301	新入生セミナー	2	演習	このセミナーは大学のシステムや大学での学び方について理解し、研究に必要な基礎的な方法を身につけるとともに、充実した大学生活を送るにあたっての基本的な事柄や社会マナーを知ることを目標とします。	○																			
教養科目	情報処理	1年次	必修	LAIP1301	情報処理	2	演習	現代では情報処理技能の習得は必須であり、これから大学で学んでいく上でも、コンピュータを中心とした情報処理能力は不可欠です。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできますが、残念ながら正しくない情報や有害なサイトも存在しますので、インターネットを的確に使いこなす能力が不可欠です。高度な文書やグラフの作成や複雑な計算の実行には、ワープロソフトや表計算ソフトの利用が有効です。魅力的なプレゼンテーションを行うための、ソフトウェアの使用法の習得も必要です。本授業では、一人一台のパソコンを用いた実習によって、情報処理の基本を学びます。				○	◎															
教養科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーションⅠ	1	演習	The course goal is for each student to develop communicative language ability. Students who successfully complete the course will be able to perform basic communicative tasks in English. （これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、英語のコミュニケーション能力を発展させる。英語で基本的なコミュニケーションが取れることをめざす。）	○									○								
教養科目	英語	1年次	選必	LAEG1201	英語演習Ⅰ	1	演習	リスニングとリーディングを中心に、英語の基礎的能力を充実させる。 TOEIC(R Listening & Reading Test（TOEIC(R L&R)の出題形式を把握する。	○																			
教養科目	英語	1年次	選必	LAEG1202	基礎英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に，英語の基礎的能力を充実させる。 基礎的な語彙力や文法力を徹底的に訓練する。	○																			
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	英語コミュニケーションⅡ	1	演習		○									○										
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	英語演習Ⅱ	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語の運用能力を発展させる。	○									○										
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	英語リーディングⅠ	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として，英語のリーディング能力を発展させる．中級レベルの英語の文章を理解できる力を身につけることをめざす．	○					○														
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	英語演習Ⅲ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につけます。	○									○										
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	英語リーディングⅡ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、リーディング能力をさらに発展させる。中上級レベルの英語の文章を理解できる力を身につける。	○					○														
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	英語ディスカッション	2	演習		○					○														
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	英語インテンシブA	2	演習		○																			
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	英語海外研修A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。	○						○			○	○									
教養科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	英語海外研修B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。	○						○			○	○									
教養科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	英語ライティングⅠ	1	演習	これまでの学習で身につけた基礎的な知識や能力を土台として、英語のライティング能力を発展させる。 比較的複雑ではない概念を表現できるライティング能力を身につけることをめざす。	○																			
教養科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	英語ライティングⅡ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、英語のライティング能力をさらに発展させる。比較的複雑な概念を表現できるライティング能力を身につける。	○									○										
教養科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	英語インテンシブB	2	演習		○																			
教養科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	アカデミックイングリッシュⅠ	2	演習		○																			
教養科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	アカデミックイングリッシュⅡ	2	演習		○																			
教養科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	アカデミックイングリッシュⅢ	2	演習	This course will be an introductory survey course (conducted in English) that aims to deepen students' knowledge and understanding of important global issues affecting the world today.? Specific issues that will be covered include the following: globalization, security and conflict, climate change, multiculturalism and immigration.	○									○	○									
教養科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、ビジネスの場面を想定した高度な英語力を身につける。	○									○										
教養科目	初修外国語	2年次	必修	LAFL1101	初修外国語入門Ⅰ	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。	○									○										
教養科目	初修外国語	2年次	選択	LAFL1301	初修外国語入門Ⅱ	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることを目標とする。	○									○										
教養科目	初修外国語	3年次	選択	LAFL2301	初修外国語Ⅰ	2	演習	初修外国語入門Ⅰ・Ⅱを学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰでは、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。	○																			

大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標																		ことができる
教養科目	初修外国語	3年次	選択	LAFL2302	初修外国語Ⅱ	2	演習	初修外国語Ⅰまで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語Ⅰと同様に、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。	○																		
教養科目	初修外国語	4年次	選択	LAFL3301	初修外国語Ⅲ	2	演習	初級文法を一通り理解していることを前提に、これまで学習した初修外国語の基礎を確実なものとしたうえで、より総合的に各国語を学んでいくことになる。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視（作文・会話能力）、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。	○																		
教養科目	初修外国語	4年次	選択	LAFL3302	初修外国語Ⅳ	2	演習	初修外国語Ⅲまでで習得した外国語の知識と能力をもとに、実践的な語学力の獲得を目標に各国語とその言語圏についてさらに学習を進める。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視（作文・会話能力）、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。	○								○									
教養科目	健康体育	3年次	必修	LAPH1301	健康体育Ⅰ	1	講義・実技		○																	
教養科目	健康体育	3年次	必修	LAPH1302	健康体育Ⅱ	1	講義・実技		○																	
教養科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2301	スポーツⅠ	1	実技		○																	
教養科目	健康体育	2年次	選択	LAPH2302	スポーツⅡ	1	実技		○																	
教養科目	キャリアデザイン	1年次	必修	LACD1101	キャリアデザイン	2	講義	大学生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。 生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。 世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。 個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。													◎	○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1201	哲学	2	講義	私たちが「当たり前」のものとして受け入れている前提を問う哲学的な営みを学ぶことにより、批判的かつ論理的にものごとを思考できるようになる。	○									○				○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1202	歴史と文化	2	講義	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の我々をとりまく社会や環境について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。	○											○						
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1203	ことばと表現	2	講義	言葉を適切に表現し正確に理解する能力を育成することにより、思考力・想像力・言語感覚を高めることができるようになる。	○								○	○								
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH2201	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合うかを考えることができるようになる。	○													○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1204	法と社会	2	講義	①法の考え方、法的なものの見方について理解する。 ②法にまつわる社会事象について理解し、考察する。 ③刑事系を中心とする法制度・法政策について理解し、考察する。	○													○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1205	経済と社会	2	講義	流通と商業、特に小売業と卸売業者の種類および流通システムに関する知識を得、それらをもとに現代社会で起きている様々な出来事に対して深い思考を巡らすことができるようになる。	○													○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1206	国際社会と日本	2	講義	国際経済事情を多角的に考察・理解し、グローバルな人材としての現代社会を見る目及び考える力を養うことを目指す。同時に今後日本が取り組むべき課題が何かについて分析し、課題解決能力を身に付ける。なお、この授業を通して、経済ニュースや経済新聞などを読む習慣を身に付けることを期待する。	○													○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1207	現代の社会	2	講義	日本の若者が直面している「移行の長期化」という問題、迷惑施設という具体的な問題など、具体的な社会問題を社会学の視点で検討することを通じて、現代社会を理解し考える力を養うこと。	○													○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1208	心理学	2	講義	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。	○														○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1209	地域と文化	2	講義	グローバル化が進み、多様性や複数性が顕著な文化と地域社会（コミュニティ）についての人文学的知見を学習し、他者との共生を図るための視点を獲得する。		○				○						○	○	○				
教養科目	個別分野人文・社会	1年次	選必	LADH1210	芸術論	2	講義	（第1～7回）クラシック音楽の歴史や鑑賞の観点を知り、音楽の特徴を感じながら鑑賞できるようになる。自分の感じた音楽の特徴を文章にまとめることができるようになる。 （第8～14回）舞台芸術作品であるオペラを中心に鑑賞し、それらに関する己の意見が述べられるようになる。	○																		
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1201	数学の世界	2	講義	高等学校で数学Ⅱは学習したが，数学Ⅲの授業を受けていない（または，数学Ⅲを受けたが落ちこぼれてしまった）学生を対象に，微分と積分の講義をします。	○																		
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深めることができるようになる。具体的には、(1)古典的な数学からの話題を通して、数理科学の一面を理解できるようになる、(2)数学を専攻としない学生の素養として、数理科学の考え方の一端を理解できるようになる、の何れかが達成されることを目標とする。	○																		
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1203	物理の世界	2	講義	科学や物理学に興味を持ち、自分で調べる力を学ぶ。	○																	
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学の基礎知識を学ぶことによって、自然の成り立ちと法則を知り、多様な現象に対して物理学的視点から考えて理解を深め、視野を広げる。	○																	
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1205	化学の世界	2	講義	私たちの身のまわりの様々な製品や食品を化学的な視点で捉え、化学的に説明できるようになる。また、現代に生きる人間として、必要な化学の知識を身につけ、生活の中でその知識を活用できるようにする。	○																	
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1206	生活の科学	2	講義	我々が生活してゆく上で切な化学の知識を広く身につける。分子を通して広く化学に関心を持てるようになる。	○																	
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1207	生命科学	2	講義	生命（植物、動物、微生物）についてミクロからマクロまで様々な視点で理解すること。生物は多様な環境の中で生育し、様々な形態をもって適応している。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、理解することで人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。また、進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について，それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより，生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。	○																		

大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標																					ことができる
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1208	生物と環境	2	講義	多様な環境に生育している生物の環境応答や適応戦略の仕組みを理解することで、様々な問題に対処するための考え方を身に付ける。生物の有する価値や命の営み、生態系の保全など生物に関係する情報に対する視座を自ら構築し、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得する。	○																			
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1209	地球科学	2	講義	現代日本の生活者として必要最小限の地球科学の最新知を身につける。地球システムが人間社会へ与える影響や、社会と自然の関わりについて理解できるようになる。我々が生きている環境がどのようなメカニズムで作り出されているものか、その科学的背景への興味・関心を抱くきっかけを得る。	○																			
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1210	進化と地球環境	2	講義	地球環境と生物進化とについて，それぞれの概要，背景，成立原理を学び捉えて理解することを目標とする.	○																			
教養科目	個別分野自然科学	1年次	選必	LADN1211	科学と技術	2	講義	科学と技術を多角的な視点で捉え、理系学生にも文系学生にも科学と技術がいかに現代社会にかかわっているかを理解し、広い視野を持てるように涵養することを目的とする。	○																			
	教養科目	学際科目			＜各科目＞				○																			

地域創造学環　カリキュラム・マトリックス（DPー科目関係表）【平成30年度・令和元年度入学生用】

◎：関連する+この科目が主に意図する教育目標である
○：関連する+副次的・派生的な教育目標である。
△：関連するが、この科目の教育目標ではない。

コース	必修科目	単位数	授業形態	年次	開講学部等	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関連する社会の問題・課題をテーマの一つとしている	「地域」にフィールドワークや見学等に行くことがある	「地域」の人材リソース（外部講師等）を活用することがある	「地域」が関係する社会の問題・課題解決のための基本的な知識・スキルを身に着けることができる	備考
必	社会科学情報処理	2	演	1	人文社会科学部				○	◎														○	
必	社会調査入門	2	講	1	人文社会科学部				◎		△					○					○				
必	地域創造インターンシップⅠ	2	実	2～4	全学教育科目	○						○	△	△	○	△	△	○	○				○		
必	地域創造インターンシップⅡ	2	実	2～4	全学教育科目	○						○	△	△	○	△	△	○	○				○		
必	地域創造演習Ⅰ	2	演	1	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	△		○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造演習ⅡA	2	演	2	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	△		○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造演習ⅡB	2	演	2	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造演習ⅢA	2	演	3	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造演習ⅢB	2	演	3	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造演習ⅣA	3	演	4	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造演習ⅣB	3	演	4	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
必	地域創造概論	2	講	1	全学教育科目	○	○	△				○	△					○		○	○				
必	地域創造特論Ⅰ	2	講	2～4	全学教育科目																○				
必	地域創造特論Ⅱ	2	講	2～4	全学教育科目																○		○	○	
必	地域創造特論Ⅲ	2	講	2～4	全学教育科目																○				
必	地域創造特論Ⅳ	2	講	2～4	全学教育科目																○				
必	地域創造特論Ⅴ	2	講	2～4	全学教育科目																○				
必	地域づくりの課題Ⅰ	2	講	1	全学教育科目	○	○					○						○			○				
必	地域づくりの課題Ⅱ	2	講	1	全学教育科目	○	○	△	○	○	○	○						○			○				
必	統計学Ⅰ	2	講	2	人文社会科学部			◎	◎																
必	ファシリテーション入門	2	講	1	全学教育科目		○							○	△	◎	◎						○	○	
必	フィールドワークⅠ	1	実	1	全学教育科目	○	○	△	○	○	○	○	△		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
必	フィールドワークⅡA	1	実	2	全学教育科目	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
必	フィールドワークⅡB	1	実	2	全学教育科目	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
必	フィールドワークⅢA	1	実	3	全学教育科目	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
必	フィールドワークⅢB	1	実	3	全学教育科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
必	プレゼンテーション入門	2	講	1	全学教育科目		○		○	○	○		△		◎	△	△					○		○	
経	観光経営論	2	講	3～4	人文社会科学部	○	○	○	○									○							
経	観光政策論	2	講	3～4	人文社会科学部	○	○	○										○			○			○	
経	コミュニティ発展論	2	講	3～4	情報学部	○	○	○										○							
経	コミュニティビジネス論	2	講	2～4	農学部	○		○	○		◎	○	◎		○	○	○	○			○		○	○	
経	サードセクター論	2	講	3～4	人文社会科学部	○	○	△				○	○	△			△	○							
経	社会資本マネジメント論	2	講	2～4	全学教育科目	○	○	○										○			○		○	○	
経	政策過程論	2	講	2～4	人文社会科学部	○	○	△	○	○	○		○					○							
経	地域経営Ⅰ	2	講	1～3	人文社会科学部	○	○	○										○			○				
経	地域経営Ⅱ	2	講	2～4	人文社会科学部	○	○	○										○			○				
経	地域政策Ⅰ	2	講	1～3	人文社会科学部	○	○	○	○									○			○			○	
経	地域政策Ⅱ	2	講	2～4	人文社会科学部	○	○	○	○		○							○			○			○	
経	都市デザイン論	2	講	2～4	情報学部	○	○	○										○							
経・共	NPO・ボランティア論	2	講	2～4	全学教育科目	○	○	△				○	○	△			△	○	○	○					
経・共	エリア・マネジメント論	2	講	2～4	人文社会科学部	○	○	○										○			○			○	
経・共	コミュニティ基礎論	1	講	1	農学部	○		○	○			◎			◎	○	○	○							
経・共	地域活性化概論	2	講	1～3	人文社会科学部	○	○	○	○		○							○			○			○	
経・共	地域連携論	2	講	1～3	人文社会科学部	○	○					△	○	○				○	○	△					
経・共	都市計画論	2	講	2～4	農学部			◎					○								○				
経・共・環防	コミュニティ・地域再生論	2	講	3～4	情報学部	○	○	○										○							
経・環防	パブリック・ガバナンス論	2	講	2～4	情報学部	○	○	○				○			○	○	○	○							

コース	必修科目	単位数	授業形態	年次	開講学部等	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関連する社会の問題・課題をテーマの一つとしている	「地域」にフィールドワークや見学等に行くことがある	「地域」の人材リソース（外部講師等）を活用することがある	「地域」が関係する社会の問題・課題解決のための基本的な知識・スキルを身に着けることができる	備考
共	家族とジェンダーの社会学	2	講	2～3	人文社会科学部																				
共	家族福祉政策論	2	講	3	情報学部	◎	○	◎	○	◎	◎	○			○	○	○	○							
共	仕事の社会学	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	○	○	○		○			○			○							
共	社会福祉	2	講	1	教育学部	◎	○	◎				○	△					○							
共	消費者市民教育論	2	講	3	教育学部	○	◎	○				○	○	△				○							
共	男女共同参画論	2	講	2～3	人文社会科学部	◎	○	○	△		△	○	△	△	△	△	△	○	○	○					
共	地域共生と法	2	講	1～3	人文社会科学部	◎	○	◎				○	△					○							
共	地域社会と人権	2	講	1～3	人文社会科学部	◎	○	◎				○	△					○							
共	地域社会と歴史	2	講	1～3	人文社会科学部	○		○				○						○			○				
共	地域創造文化論	2	講	1～3	人文社会科学部	◎	○	◎				◎	△	△				◎	○	○					
共	臨床社会心理学Ⅱ	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	◎	○			◎	○	◎		△	△	○	○	◎	○			○	
共	臨床心理学Ⅰ	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	◎	○			○	△	△		△		○	○		○			○	
共	多元的共生社会論	2	講	1～3	人文社会科学部	◎	○	◎				○	△					○			○		○		
共	地域社会と文学文化	2	講	1～4	人文社会科学部	◎	○	◎				◎	△	△				◎	○	○	○	○	○	○	
共	地域社会の言語文化	2	講	1～3	人文社会科学部	◎	○	◎				○						◎	△	△					
共・経	地域社会学	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	○	○		○	○	◎	○	○		○	○			○		○	○	
共・経	地域社会と福祉	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	○	○		○	○	◎	○	○		○	○			○		○	○	
共・経	農村福祉論	2	講	2～4	農学部	◎	○	○										○							
環防	環境化学	2	講	2	工学部			◎																	
環防	環境化学工学	2	講	2	工学部			◎																	
環防	環境共生と地域の社会学	2	講	1～3	人文社会科学部		◎		△			◎	△			△		△			○				
環防	環境工学	2	講	3	工学部			◎																○	
環防	環境と経済	2	講	2～4	人文社会科学部		○	◎	○		△	◎	○		○	△	△	○		○	○				
環防	公共施設デザイン論	2	講	2～3	全学教育科目	◎	○		△			○	△					△			○		○	○	
環防	コミュニティ・デザイン論	2	講	2	情報学部		○	◎																	
環防	自然災害学	2	講	2～4	教育学部	△	◎		○	△		△									○			○	
環防	自然災害と現代社会	2	講	3～4	農学部	○	◎		○	△		◎	△	○				○		△	○			○	
環防	自治体行政論	2	講	3	情報学部		○	◎																	
環防	実践からの防災行政論	2	講	1～3	全学教育科目	◎	◎		△			○	△		△			△			○		○	○	
環防	地域情報マネジメント	2	講	3	情報学部		○	◎	○																
環防	地球システム	2	講	2～4	教育学部	△	◎		○	△		△									○			○	
環防	地理学研究法	2	講	3	教育学部			◎																	
環防	物質循環化学	2	講	2	工学部			◎																	
環防	防災科学実習	1	実	3～4	農学部	△	○		◎			○	△	△		△		△	△	△	○	○	○	○	
環防	科学ジャーナリズム論	2	講	2～4	農学部	△	△		◎	◎	○	○	△	△	○	△	△			○	○				
環防	学校におけるリスク管理	2	講	3～4	教育学部		○																		
環防	環境と化学	2	講	1	農学部	△	◎	◎	○			○	△												
環防	環境社会学	2	講	2	農学部		○	◎																	
環防	環境法	2	講	2～4	人文社会科学部		○	◎																	
環防	災害時におけるリスク危機マネジメント	2	講	2～3	全学教育科目	◎	○		△			○	○	△	△			○		○					
環防	自然遺産の保護と活用	2	講	3～4	農学部	△	◎		○	△		○	△	△				○	△	△	○	○	○	○	
環防	食のリスクマネジメント	2	講	2	農学部			◎																	
環防	水と空気と光の物理化学	2	講	2	農学部	△	○	◎																○	
環防	数値解析基礎	2	演	1				○	◎	△														○	
環防	生活と防災の高分子科学	2	講	2	農学部	△	○	◎										△						○	
環防	生活の中の物理	2	講	1	農学部	○	△	◎																○	
環防	生態学入門	2	講	1	農学部		○	◎	○		△	○								○	○				
環防	生物環境科学概論Ⅰ	2	講	2	理学部			◎																	
環防	生物環境科学概論Ⅱ	2	講	2	理学部			◎																	
環防	静岡県の防災・減災と原子力	2	講	2～3	全学教育科目	○	◎		△											○					
環防	地域社会と災害	2	講	2～3	全学教育科目	○	◎		△									△		○					
環防	地球ダイナミクス概論Ⅰ	2	講	2	理学部			◎																	
環防	地球ダイナミクス概論Ⅱ	2	講	2	理学部			◎																	
環防	地球科学	2	講	1～3	全学教育科目	○	◎		△											△				○	
環防	地誌学（地誌学概論）	2	講	1	教育学部			◎																	2018年度入学生対象（2019年度入学生対象）
環防	地震防災	2	講	2～3	全学教育科目	◎	○		△									△		○	○		○		
環防	放射線計測・管理学概論	2	講	3～4	理学部			◎																	
環防・経	環境政策	2	講	1～4	人文社会科学部		◎	△				◎	○					△		○	○				

コース	必修科目	単位数	授業形態	年次	開講学部等	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関連する社会の問題・課題をテーマの一つとしている	「地域」にフィールドワークや見学等に行くことがある	「地域」の人材リソース（外部講師等）を活用することがある	「地域」が関係する社会の問題・課題解決のための基本的な知識・スキルを身に着けることができる	備考
ア	アートマネジメント概論	2	講	1	人文社会科学部	◎	◎	◎			○	○	△	△	○			◎			○	○	○	○	
ア	アートマネジメント各論	2	講	3～4	人文社会科学部	○	○	○			○	○	△	△	○			◎			○		○	○	
ア	アートマネジメント特講	2	講	3～4	人文社会科学部	◎	○	○			○	◎	○	○	○	○	◎	○		○	○		○	○	
ア	演劇文化論	2	講	2～4	人文社会科学部	◎	◎	◎	○			△	△	△				○			○	○	○	○	
ア	音楽文化論	2	講	2～4	教育学部																				
ア	絵画実践研究Ⅰ	2	演	1	教育学部	○					△				○	◎	△			○		○	○		
ア	絵画実践研究Ⅱ	2	演	2	教育学部	○					△				○	◎	△			○		○	○		
ア	絵画実践研究Ⅲ	2	演	3	教育学部	◎	△	△			△				○	◎	△			○		○	○		
ア	芸術鑑賞演習	2	演	3～4	教育学部	◎	◎	◎				△	△	△	△	○	○	○	△	△	○	○	○		
ア	劇場・音楽堂概論	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	◎			○	○	△	△		△		◎			○	○	○	○	
ア	劇場・音楽堂各論	2	講	2～3	人文社会科学部	○	◎	◎			○	△	△	◎	◎	◎	◎	○			○	○	○	○	
ア	劇場・音楽堂管理運営演習	2	演	3～4	人文社会科学部	○	○	○			△	◎	◎	△	◎	◎	◎	○	△	◎	○	○	○	○	
ア	書道フィールドワーク	2	演	3～4	教育学部																				
ア	書文化制作実践	2	演	2～3	教育学部																				
ア	彫刻実践研究Ⅱ	2	演	3	教育学部	◎	△	△			○				◎	○	△			○	○	○	○	○	
ア	彫刻実践研究Ⅰ	2	演	2	教育学部	○	◎				○				◎	○	△	△	△		○	○		○	
ア	デザイン実践研究ⅠA	2	演	1	教育学部					△	◎	○	◎		○		○		△	△	○				
ア	デザイン実践研究ⅠB	2	演	1	教育学部	○	◎				○	△	△					◎			○				
ア	デザイン実践研究Ⅱ	2	演	2	教育学部				△	△	◎	○	◎	△	○						○			○	
ア	デザイン実践研究Ⅲ	2	演	3	教育学部					△	◎	△	◎		○		○		△	○	○				
ア	美術史研究Ⅰ	2	講	2～3	教育学部	○			◎		△	○													
ア	美術史研究Ⅱ	2	講	3～4	教育学部																				
ア	ワークショップ演習	2	演	3～4	教育学部		◎	○							◎	○	○	○	△	△			○		
ア	芸術文化思想	2	講	2～3	人文社会科学部																				
ア	芸術文化思想演習	2	演	2～4	人文社会科学部																				
ア	美術とメディア	2	講	2	情報学部																				
ア・経	文化政策論	2	講	2～4	全学教育科目	◎	◎	◎				◎	△	△				○	○	○	○				
ス	運動生理学						◎		○			○					△								
ス	運動生理学演習						◎		○	◎	△		◎			○	○								
ス	コーチング論						○								◎	○	△	◎				○	○		
ス	スキー演習					○	○				◎	○				○		○		◎	○	○	○	○	
ス	スポーツ医学						◎								△				◎	△					
ス	スポーツ栄養学					△	◎		○			○			○			○							
ス	スポーツ政策論						◎				○		△	◎						○	○			○	
ス	スポーツテーピング演習						◎								◎			○							
ス	スポーツバイオメカニクス						◎			◎	△			○											
ス	スポーツプロモーション論					○	△		○		△				○	○		○	◎		○				
ス	スポーツマーケティング論						○		○			◎				○					○			○	
ス	スポーツマネジメント論					○	△		○		△		○		○	○		○	◎		○				
ス	スポーツメンタルマネジメント						◎		○		○	△	○		○		○	◎	◎	△					
ス	体育・スポーツ経営学						◎							○						◎	○				
ス	体育・スポーツ社会学						◎		◎			◎		○		△				◎	○				
ス	体育・スポーツ心理学					△	○							○		◎	○	◎							
ス	トレーニング論						◎		○			○						◎	○						
ス	ニュースポーツ演習						○				◎		◎					○		○	○		○	○	
ス	フィジカルフィットネル論					○	△		◎		△		○		○	○		○	◎						
ス	ヘルスプロモーション論					○	△		○		△				○	○		○	◎						
					◎	21	37	41	8	5	7	13	9	3	9	7	4	11	6	5					
					○	62	66	35	46	16	30	52	23	15	37	30	25	69	23	34					
					△	10	8	12	10	8	15	9	32	25	6	12	16	9	9	11					
					計	93	111	88	64	29	52	74	64	43	52	49	45	89	38	50					
						A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3					

地域創造学環　ディプロマ・ポリシー（DP）

地域創造学環は、現代の地域社会が抱えている様々な問題・課題に対処し、より活力にあふれ魅力的な地域社会の創造に取り組む人を育成するため、下記に示す知識、能力、態度を身につけるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（学術）の学位を授与する。

	学環DP	キーワード・要素	地域経営 コースDP	地域共生 コースDP	地域環境・防災コース DP	アート＆マネジメント コースDP	スポーツプロモーション コースDP
知識	(A) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養と体系的な専門的知識を身につけている。	文理融合的教養 総合化された教養	(A-1) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養を身に着けている。	(A-1) 地域社会の担い手として必要な、文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。	(A-1) 地域の環境や防災の担い手として必要な、文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。	(A-1)地域社会の担い手として必要な、芸術・文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけ、それらを美術・デザイン及びアートマネジメントに関連する事項において知識探求することができる。	(A-1)地域社会の担い手として必要な文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけ、それらをスポーツ・健康に関する事柄との関連において知識探求することができる。
		地域問題・課題に関する専門的知識	(A-2) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身に着けている。	(A-2) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけている。	(A-2) 環境や防災に関わる地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけている。	(A-3) アートないしはアートマネジメントの分野において必要な専門的かつ応用性のある知識と技術を身につけている。	(A-2) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけている。
		関連する基礎的学問に関する素養	(A-3) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な基礎的学問に関する素養を有している。	(A-3) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な基礎的学問に関する素養を有している。	(A-3) 環境や防災の問題・課題を正しくとらえるために必要な基礎的学問に関する素養を有している。	(A-3) アートないしはアートマネジメントの分野における基礎理論・技能に関する素養を有している。	(A-3) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題を発見・解決するために必要な基礎的学問に関する素養を有している。
能力	(B) 地域資源（文化・社会・自然等）を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法により適切に調査・分析・処理するとともに、その結果を効果的に表現することができる。	調査・情報収集力 分析・検証力 数量的スキル	(B-1) 地域資源を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を調査・収集・分析することができる。	(B-1) 地域資源（文化・社会・自然等）を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の環境や防災にかかわる問題・課題の発見や解決に必要な情報・データ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源（芸術・文化・社会・自然等）を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源を理解し、地域課題の解決に必要なスポーツ・健康に関する情報やデータ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。
		情報リテラシー （情報処理）	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。	(B-2)ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。	(B-2)ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。
		文書表現力 デザイン力 実技表現力	(B-3) 分析・検討した情報やデータ等を専門的知識、手法を用いて分析・検討し、提示することができる。	(B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図像・実技実演等により効果的・印象的に表現することができる。	(B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図像・実技実演等により効果的・印象的に表現することができる。	(B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・視覚的表現により効果的・印象的に示すことができる。	(B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図示・実技実演・作品等により効果的に表現することができる。
	(C) 地域が抱える問題・課題を発見するとともに、それを多面的に考察し、創造的な思考と論理的・総合的な判断により解決策を企画・立案することができる。またそれを地域社会の様々な主体との協働により実行することができる。	問題・課題発見力 多面的考察力 論理的思考力	(C-1) 現場と関わる中で地域の問題・課題を発見し、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域現場との豊富な関わりの中で地域の問題・課題を発見し、多面的かつ論理的な考察により、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域における環境や防災の問題・課題を発見し、多面的かつ論理的な考察により、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域現場との豊富な関わりの中で、地域の問題・課題について多面的かつ論理的に考察し、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域との豊富な関わりの中でスポーツ・健康の課題を発見し、多面的かつ論理的な考察により、その本質を理解することができる。
		創造的思考力 企画・立案力	(C-2) 地域問題・課題の対応策を地域社会の様々な主体との協働に基づき、企画・立案することができる。	(C-2) 創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。	(C-2) 創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域の環境や防災に関する問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。	(C-2)創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。	(C-2)創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域で展開されるスポーツ・健康に関する課題の具体的な方策について、企画・立案することができる。
		問題解決力 実践力、協働力 マネジメント能力 プロモーション能力	(C-3) 地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域の環境や防災に関する問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3)地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営・管理、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3)地域課題の解決策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・発展させることができる。
	(D) 自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝達できるとともに、他者の発言等に真摯に傾聴してその要点を的確にとらえることができ、他者と自らの意見の交換や調整をすることができる。	伝達力 プレゼンテーション力	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を効果的に伝えることができる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝えることができる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝えることができる。また、地域の環境や防災に関わる問題・課題、あるいはそれに対する取り組みを広く世の中に情報発信できる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝え、また実技実演等により効果的・印象的に表すことができる。	(D-1) 多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的に伝え、また、文章・図示・実技実演・作品等により効果的に表現することができる。
		傾聴力 親和力・共感力 コーディネーション力	(D-2) 他者の意見や考えを尊重することができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整することができる。
		意見や行動等を引き出す力 働きかける力 ファシリテーション力	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデアなどを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。
関心・意欲・態度	(E) 地域の問題・課題に積極的に関心を持ち続け、社会のルールや規範を尊重するとともに、多様な価値に基づいて他者や社会の発展のために行動できる。	意欲・関心 向上心 生涯学習力	(E-1) 地域の問題・課題に積極的な関心を持ち続けることができる。	(E-1) 地域の問題・課題に積極的に関心を持ち、社会にでてからも学ぶ意欲を持続できる。	(E-1) 地域の環境や防災の問題・課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。	(E-1) 地域で展開される美術・デザイン及びアートプロジェクトの問題・課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。	(E-1) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。
		規範性	(E-1) 地域社会の一員としての役割と責任を理解することができる。	(E-2) 既存の規範や所与のルールの問題点を見出し、地域の人々や社会の発展のために積極的に関与し、新しい価値を創造できる。	(E-2) 目的や目標のために自らを適切に律し、社会のルールや規範を尊重しつつ行動できる。	(E-2) 目的や目標のために自らを適切に律し、社会のルールや規範を尊重しつつ行動できる。	(E-2) 地域創造に資する目的・目標を適切に設定し、き、その実現に向け常に心身を整えようと自己管理するとともに、社会の規範やルールを尊重し行動または助言できる。
		多様な価値観 社会の発展	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて他者や地域社会の発展のために行動できる。	(E-3) 人間の尊厳と基本的人権を尊重する価値に基づいて行動し、他者に配慮しながら、社会の発展のために行動できる。	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて他者や地域社会の発展のために行動できる。	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値観を認め、美術・デザイン及びアートマネジメントの活動を通し他者や地域社会の発展のために行動できる。	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて他者や地域社会の発展のために行動できる。